

はじめに

私たちの市原市は、日本最大規模の石油化学コンビナートを有する工業都市として、これまで豊かな財政力を背景に発展してまいりましたが、東京湾臨海部に立地する企業の多くは今、国際競争の激化や国内需要の縮小など厳しい経営環境下におかれ、事業の再編に取り組んでいます。

また、全国的に人口減少と少子高齢化が進行する中、本市でも、特に若年世代の女性の流出による人口減少が続いており、今後、本市が持続的な発展を遂げていく上で、大きな課題となっております。

これらの課題を克服するため、今後10年のまちづくりの羅針盤となる「市原市総合計画」を平成29年3月に策定し、新たなまちづくりをスタートさせました。

併せて、産業部門の個別計画である「市原市産業振興ビジョン」を改訂するとともに、「市原市観光振興ビジョン」及び「市原市農林業振興計画」を新たに策定いたしました。

これらの計画に基づき、臨海部工業の競争力強化をはじめ、中小企業の支援拡充、地域資源を活用した農林業や観光の振興など、本市の魅力や特性を活かしながら、総合計画において目指すまちの姿の第一に掲げる「産業と交流の好循環が新たな価値を創るまち」の実現に向けた取組みを強力的に推進してまいります。

この産業白書では、市内産業の実態をお示しするとともに、経済活性化に向けた本市の各種施策とその実績などについて、幅広く市民や事業者の皆様にお知らせするため取りまとめたものです。

本書が、皆様にとって市原市の産業への理解を深め、共に将来への取組みを考える際の一助となれば幸いです。

平成29年9月

市原市長 小出 譲治